

一般国民票

【人生の最終段階における医療・療養についてお尋ねします】

あなたが末期のがん、もしくは重い病気により、治る見込みがなく、あなたの死が近い場合を想像して、受けたい医療・療養や受けたくない医療・療養についてお尋ねします。

問1 あなたは、人生の最終段階における医療・療養についてこれまでに考えたことがありますか。(○は1つ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問2 あなたの死が近い場合に受けたい医療・療養や受けたくない医療・療養について、ご家族等や医療介護関係者とのどのくらい話し合ったことがありますか。(○は1つ)

※ 「ご家族等」の中には、家族以外でも、自分が信頼して自分の医療・療養に関する方針を決めてほしいと思う人(友人、知人)を含みます。

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 詳しく話し合っている | 2. 一応話し合っている |
| 3. 話し合ったことはない | |

(問2で「1. 詳しく話し合っている」「2. 一応話し合っている」と回答の方にお尋ねします。)

問2-1 どなたと話し合いましたか。(複数回答可)

- | | |
|----------|------------|
| 1. 家族・親族 | 3. 医療介護関係者 |
| 2. 友人・知人 | 4. その他() |

(問2で「3 話し合ったことはない」と回答の方にお尋ねします。)

問2-2 これまで話し合ったことはない理由は、何ですか。(複数回答可)

- | |
|------------------------------|
| 1. 話し合いたくないから |
| 2. 話し合う必要性を感じていないから |
| 3. 話し合うきっかけがなかったから |
| 4. 知識が無いため、何を話し合っているかわからないから |
| 5. その他() |

問3 もし、ご家族等や医療介護関係者等の方と医療・療養について話し合う時期があるとする、いつ頃が良い年齢だと思いますか。(話し合ったことがある方は、いつ頃でしたか。)
(○は1つ)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 20歳未満 | 6. 年齢は関係ない |
| 2. 20-39歳 | 7. その他() |
| 3. 40-59歳 | 8. わからない |
| 4. 60-69歳 | |
| 5. 70歳以上 | |

問4 もし、ご家族等や医療介護関係者等の方と医療・療養について話し合うきっかけがあるとすると、どのような出来事だと思いますか。(話し合ったことがある方は、何がきっかけでしたか。)(複数回答可)

- | |
|---|
| 1. 誕生日 |
| 2. 結婚 |
| 3. 妊娠・出産(配偶者の場合も含む) |
| 4. 自分の病気 |
| 5. 退職 |
| 6. 還暦 |
| 7. ご家族等の病気や死 |
| 8. 人生の最終段階についてメディア(新聞・テレビ・ラジオ等)から情報を得た時 |
| 9. 医療や介護関係者による説明や相談の機会を得た時 |
| 10. その他() |

問5 あなたの死に近い場合の受けたい医療・療養や、受けたくない医療・療養について、どのような情報源から情報を得たいと思いますか。(複数回答可)

- | | |
|------------|-------------------|
| 1. 新聞 | 7. 研修会や講演会 |
| 2. 雑誌 | 8. 医療機関・介護施設 |
| 3. 書籍 | 9. 自治体(都道府県・市区町村) |
| 4. テレビ | 10. その他() |
| 5. ラジオ | |
| 6. インターネット | |

問6 あなたの死が近い場合の受けたい医療・療養や受けたくない医療・療養を考えるために、どのような情報を得たいと思いますか。(複数回答可)

1. 人生の最終段階の心身の状態の変化
2. 人生の最終段階に受けられる医療の内容
3. 人生の最終段階に過ごせる施設・サービスの情報
4. 人生の最終段階に受けた医療や療養の場所に関する体験談
5. 人生の最終段階における、自分の意思の伝え方や残し方
6. 人生の最終段階の相談・サポート体制
7. その他()
8. 知りたくない

問7 あなたは、自分が意思決定できなくなったときに備えて、どのような医療・療養を受けたか、あるいは受けたくないかなどを記載した書面をあらかじめ作成しておくことについてどう思いますか。(○は1つ)

1. 賛成である
2. 反対である
3. わからない

→(問7で「1. 賛成である」と回答の方にお尋ねします。)

問7-1 実際に書面を作成していますか。(○は1つ)

1. 作成している
2. 作成していない

問8 あなたは、意思決定できなくなったときに備えて、どのような医療・療養を受けたいか、あるいは受けたくないかなどを記載した書面に従って治療方針を決定することを法律に定めてほしいと思いますか。(○は1つ)

1. 定めてほしい
2. 定めなくてもよい
3. 定めるべきでない
4. わからない

問9 自分が意思決定できなくなったときに備えて、自分が信頼して自分の医療・療養に関する方針を決めてほしいと思う人、もしくは人々を選定しておくことについてどう思いますか。
(○は1つ)

- 1. 賛成である
- 2. 反対である
- 3. わからない

(問9で「1. 賛成である」と回答の方にお尋ねします。)

問9-1 実際に選定していますか。(○は1つ)

- 1. 選定している
- 2. 選定していない

(問9-1で「1. 選定している」と回答の方にお尋ねします。)

問9-2 選定された人は、あなたの希望について、どの程度知っていると思いますか。
(○は1つ)

- 1. 十分に知っていると思う
- 2. 知っていると思う
- 3. よく知らないと思う

問10 あなたは、アドバンス・ケア・プランニング(ACP)について、知っていますか。
(○は1つ)

- 1. よく知っている
- 2. 聞いたことはあるがよく知らない
- 3. 知らない

問11 人生の最終段階の医療・療養について、あなたの意思に沿った医療・療養を受けるためには、ご家族等や医療介護関係者等とあらかじめ話し合い、また繰り返し話し合うこと(アドバンス・ケア・プランニング<ACP>)が重要と言われています。このような話し合いを進めることについて、あなたはどう思いますか。(○は1つ)

- 1. 賛成である
- 2. 反対である
- 3. わからない

問12 どこで最期を迎えたいかを考える際に、重要だと思うことはなんですか。(複数回答可)

1. 信頼できる医師、看護師、介護職員などにみてもらうこと
2. 自分がなじみのある場所にいること
3. 家族等との十分な時間を過ごせること
4. 自分らしくいられること
5. 人間としての尊厳を保てること
6. 体や心の苦痛なく過ごせること
7. 不安がないこと
8. 家族等の負担にならないこと
9. 可能な限り長生きすること
10. 積極的な医療を続けられること
11. 経済的な負担が少ないこと
12. どんなことでも相談できる窓口があること
13. その他()

【ここから先の質問では、あなたご自身が回復の難しい状態になった場合の医療に関するご希望を伺います。3つの異なる状態を示すので、それぞれについてお答えください。】

※病状による変化は参考資料をご参照ください。

問13 もしあなたが以下のような病状になった場合、どのような医療・療養を希望しますか。

—あなたの病状—

末期がんと診断され、状態は悪化し、今は食事がとりにくく、呼吸が苦しいといった状態です。しかし、痛みはなく、意識や判断力は健康な時と同様に保たれています。

—医療上の判断—

「回復の見込みはなく、およそ1年以内に徐々にあるいは急に死に至る」とのことです。

お考えに近いものを選んでください。

問13-1 どこで過ごしながら医療・療養を受けたいですか。(○は1つ)

1. 医療機関 2. 介護施設 3. 自宅

→ 問13-3

問13-2 どこで最期を迎えることを希望しますか。(○は1つ)

1. 医療機関 2. 介護施設 3. 自宅 → 問13-4

→ 問13-3

→(問13-1、問13-2で「1. 医療機関」「2. 介護施設」をお選びの方にお尋ねします。)
問13-3 なぜ、自宅以外を選択したのか、お考えに近いものをお選びください。(複数回答可)

1. 訪問してくれるかかりつけの医師がないから
2. 訪問看護(看護師の訪問)体制が整っていないから
3. 訪問介護(ホームヘルパーの訪問)体制が整っていないから
4. 24時間相談にのってくれるところがないから
5. 介護してくれる家族等がないから
6. 介護してくれる家族等に負担がかかるから
7. 症状が急に悪くなったときの対応に自分も家族等も不安だから
8. 症状が急に悪くなったときにすぐに医師や看護師の訪問が受けられるか不安だから
9. 症状が急に悪くなったときにすぐ病院に入院できるか不安だから
10. 居住環境が整っていないから
11. 経済的に負担が大きいと思うから
12. その他()

→(問13-2で「3自宅」をお選びの方にお尋ねします。)
問13-4 なぜ自宅を選択されたのか、お考えに近いものをお選び下さい。(複数回答可)

1. 訪問してくれるかかりつけの医師がいるから
2. 訪問看護(看護師の訪問)体制が整っているから
3. 訪問介護(ホームヘルパーの訪問)体制が整っているから
4. 住み慣れた場所で最期を迎えたいから
5. 最期まで自分らしく好きなように過ごしたいから
6. 家族等との時間を多くしたいから
7. 家族等に看取られて最期を迎えたいから
8. 家族等が自宅で最期を迎えていたから
9. 症状が急に悪くなったときにすぐに医師や看護師が訪問してくれるから
10. 症状が急に悪くなったときにすぐ入院できる体制が整っているから
11. 経済的に負担が大きいと思うから
12. その他()

問13-5 下記のア～キの医療を望みますか。(○はそれぞれ1つ)

	1 望む	2 望まない	3 わからない
(記入例) ⇒	①	2	3
(ア) 副作用はあるものの、多少なりとも悪化を遅らせることを期待して、抗がん剤や放射線による治療	1	2	3
(イ) 口から水を飲めなくなった場合の点滴	1	2	3
(ウ) 口から十分な栄養をとれなくなった場合、首などから太い血管に栄養剤を点滴すること(中心静脈栄養)	1	2	3
(エ) 口から十分な栄養をとれなくなった場合、鼻から管を入れて流動食を入れること(経鼻栄養)	1	2	3
(オ) 口から十分な栄養をとれなくなった場合、手術で胃に穴を開けて直接管を取り付け、流動食を入れること(胃ろう)	1	2	3
(カ) 呼吸ができにくくなった場合、気管に管を入れて人工呼吸器につなげること(言葉を発声できなくなる場合もあります)	1	2	3
(キ) 心臓や呼吸が止まった場合の蘇生処置(心臓マッサージ、心臓への電気ショック、人工呼吸などを行うこと)	1	2	3

問14 もしあなたが以下のような病状になった場合、どのような医療・療養を希望しますか。

—あなたの病状—
慢性の重い心臓病が進行して悪化し、今は食事や着替え、トイレなど身の回りのことに手助けが必要な状態です。しかし、意識や判断力は健康な時と同様に保たれています。

—医療上の判断—
「回復の見込みはなく、およそ1年以内に徐々にあるいは急に死に至る」とのことです。

お考えに近いものを選んでください。

問14-1 どこで過ごしながらか医療・療養を受けたいですか。(○は1つ)

1. 医療機関 2. 介護施設 3. 自宅

└─┬─> 問14-3

問14-2 どこで最期を迎えることを希望しますか。(○は1つ)

1. 医療機関 2. 介護施設 3. 自宅 → 問14-4

└─┬─> 問14-3

→(問14-1、問14-2で「1. 医療機関」「2. 介護施設」をお選びの方にお尋ねします。)

問14-3 なぜ、自宅以外を選択したのか、お考えに近いものをお選びください。(複数回答可)

1. 訪問してくれるかかりつけの医師がいないから
2. 訪問看護(看護師の訪問)体制が整っていないから
3. 訪問介護(ホームヘルパーの訪問)体制が整っていないから
4. 24時間相談にのってくれるところがないから
5. 介護してくれる家族等がないから
6. 介護してくれる家族等に負担がかかるから
7. 症状が急に悪くなったときの対応に自分も家族等も不安だから
8. 症状が急に悪くなったときにすぐに医師や看護師の訪問が受けられるか不安だから
9. 症状が急に悪くなったときにすぐ病院に入院できるか不安だから
10. 居住環境が整っていないから
11. 経済的に負担が大きいと思うから
12. その他()

→(問14-2で「3自宅」をお選びの方にお尋ねします。)

問14-4 なぜ自宅を選択されたのか、お考えに近いものをお選び下さい。(複数回答可)

1. 訪問してくれるかかりつけの医師がいるから
2. 訪問看護(看護師の訪問)体制が整っているから
3. 訪問介護(ホームヘルパーの訪問)体制が整っているから
4. 住み慣れた場所で最期を迎えたいから
5. 最期まで自分らしく好きなように過ごしたいから
6. 家族等との時間を多くしたいから
7. 家族等に看取られて最期を迎えたいから
8. 家族等が自宅で最期を迎えていたから
9. 症状が急に悪くなった時にすぐに医師や看護師が訪問してくれるから
10. 症状が急に悪くなった時にすぐに入院できる体制が整っているから
11. 経済的に負担が大きいと思うから
12. その他()

問14-5 下記のア～キの医療を望みますか。(○はそれぞれ1つ)

	1 望む	2 望まない	3 わからない
(記入例) ⇒	①	2	3
(ア) 肺炎にもかかった場合、抗生剤を飲んだり点滴したりすること	1	2	3
(イ) 口から水を飲めなくなった場合の点滴	1	2	3
(ウ) 口から十分な栄養をとれなくなった場合、首などから太い血管に栄養剤を点滴すること(中心静脈栄養)	1	2	3
(エ) 口から十分な栄養をとれなくなった場合、鼻から管を入れて流動食を入れること(経鼻栄養)	1	2	3
(オ) 口から十分な栄養をとれなくなった場合、手術で胃に穴を開けて直接管を取り付け、流動食を入れること(胃ろう)	1	2	3
(カ) 呼吸ができにくくなった場合、気管に管を入れて人工呼吸器につなげること(言葉を発声できなくなる場合もあります)	1	2	3
(キ) 心臓や呼吸が止まった場合の蘇生処置(心臓マッサージ、心臓への電気ショック、人工呼吸などを行うこと)	1	2	3

問15 もしあなたが以下のような病状になった場合、どのような医療・療養を希望しますか。

—あなたの病状—
 認知症が進行し、自分の居場所や家族の顔が分からず、食事や着替え、トイレなど身の回りのことに手助けが必要な状態で、かなり衰弱が進んできました。

—医療上の判断—
 「回復の見込みはなく、およそ1年以内に徐々にあるいは急に死に至る。」とのことです。

お考えに近いものを選んでください。

問15-1 どこで過ごしながら医療・療養を受けたいですか。(○は1つ)

1. 医療機関 2. 介護施設 3. 自宅

└─▶ 問15-3

問15-2 どこで最期を迎えることを希望しますか。(○は1つ)

1. 医療機関 2. 介護施設 3. 自宅 ─▶ 問15-4

└─▶ 問15-3

→(問15-1、問15-2で「1. 医療機関」「2. 介護施設」をお選びの方にお尋ねします。)

問15-3 なぜ、自宅以外を選択したのか、お考えに近いものをお選びください。(複数回答可)

1. 訪問してくれるかかりつけの医師がいないから
2. 訪問看護(看護師の訪問)体制が整っていないから
3. 訪問介護(ホームヘルパーの訪問)体制が整っていないから
4. 24時間相談にのってくれるところがないから
5. 介護してくれる家族等がいないから
6. 介護してくれる家族等に負担がかかるから
7. 症状が急に悪くなったときの対応に自分も家族等も不安だから
8. 症状が急に悪くなったときにすぐに医師や看護師の訪問が受けられるか不安だから
9. 症状が急に悪くなったときにすぐ病院に入院できるか不安だから
10. 居住環境が整っていないから
11. 経済的に負担が大きいと思うから
12. その他()

→(問15-2で「3. 自宅」をお選びの方にお尋ねします。)

問15-4 なぜ自宅を選択されたのか、お考えに近いものをお選び下さい。(複数回答可)

1. 訪問してくれるかかりつけの医師がいるから
2. 訪問看護(看護師の訪問)体制が整っているから
3. 訪問介護(ホームヘルパーの訪問)体制が整っているから
4. 住み慣れた場所で最期を迎えたいから
5. 最期まで自分らしく好きなように過ごしたいから
6. 家族等との時間を多くしたいから
7. 家族等に看取られて最期を迎えたいから
8. 家族等が自宅で最期を迎えていたから
9. 症状が急に悪くなったときにすぐに医師や看護師が訪問してくれるから
10. 症状が急に悪くなったときにすぐに入院できる体制が整っているから
11. 経済的に負担が大きいと思うから
12. その他()

問15-5 下記のア～キの医療を望みますか。(○はそれぞれ1つ)

	1 望む	2 望まない	3 わからない
(記入例) ⇒	①	2	3
(ア) 肺炎にもかかった場合、抗生剤を飲んだり点滴したりすること	1	2	3
(イ) 口から水を飲めなくなった場合の点滴	1	2	3
(ウ) 口から十分な栄養をとれなくなった場合、首などから太い血管に栄養剤を点滴すること(中心静脈栄養)	1	2	3
(エ) 口から十分な栄養をとれなくなった場合、鼻から管を入れて流動食を入れること(経鼻栄養)	1	2	3
(オ) 口から十分な栄養をとれなくなった場合、手術で胃に穴を開けて直接管を取り付け、流動食を入れること(胃ろう)	1	2	3
(カ) 呼吸ができにくくなった場合、気管に管を入れて人工呼吸器につなげること(言葉を発声できなくなる場合もあります)	1	2	3
(キ) 心臓や呼吸が止まった場合の蘇生処置(心臓マッサージ、心臓への電気ショック、人工呼吸などを行うこと)	1	2	3

【フェースシート】

最後に、あなたご自身のことについてお答えください。

(1) 性別(○は1つ)

1. 男性	2. 女性	3. その他
-------	-------	--------

(2) 満年齢(○は1つ)

1. 20-24歳	5. 40-44歳	9. 60-64歳	13. 80-84歳
2. 25-29歳	6. 45-49歳	10. 65-69歳	14. 85歳以上
3. 30-34歳	7. 50-54歳	11. 70-74歳	
4. 35-39歳	8. 55-59歳	12. 75-79歳	

(3) 同居している方はいらっしゃいますか。(○は1つ)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. いる	2. いない
---	--------

→((3)で「1. いる」と回答の方にお尋ねします。)

(3)-1 同居しているのはどなたですか。あてはまる回答全てに○をつけてください。

1. 夫又は妻	4. 娘	7. 兄弟姉妹	10. その他
2. 父母	5. 息子の妻	8. 孫	
3. 息子	6. 娘の夫	9. その他の親族	

(4) あなたが最後に卒業された学校はどちらですか。中退、在学中も卒業とお考えください。
(○は1つ)

1. 中学(小学校・高等小学校を含む)
2. 高校(旧制中学を含む)
3. 短期大学、高等専門学校・専門学校(高卒後3年以内の教育)
4. 大学・大学院

(5) あなたには、信頼しているかかりつけ医がいますか？(○は1つ)

1. いる	2. いない
-------	--------

(6) あなたは、身近で大切な人の病気やけがによる介護を、最近5年間に経験しましたか。
(複数回答可)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 入院で経験した | 3. 在宅療養で経験した |
| 2. 施設入所で経験した | 4. 経験していない |

(7) あなたは、身近で大切な人の死を最近5年間に経験しましたか。(複数回答可)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 病院で経験をした | 3. 在宅で経験をした |
| 2. 施設で経験をした | 4. 経験していない |

→ ((7)で「1. 病院で経験をした」「2. 施設で経験をした」「3. 在宅で経験をした」と回答の方にお尋ねします。)

(7)－1 大切な人の死において、心残りがありますか。(○は1つ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

→ ((7)－1で「1. ある」と回答の方にお尋ねします)

(7)－2 どうしていたら心残りがなかったと思いますか。(複数回答可)

- | |
|---|
| 1. あらかじめ身近で大切な人と人生の最終段階について話し合えていたら |
| 2. もっと早く医療や介護関係者等と人生の最終段階について話し合いをしていたら |
| 3. 信頼できる医療や介護関係者等と出会えていたら |
| 4. 同じ医師に継続して診療してもらっていたら |
| 5. 大切な人の苦痛がもっと緩和されていたら |
| 6. 望んだ場所で療養できていたら |
| 7. 望んだ場所で最期を迎えていたら |
| 8. その他() |